

# 令和6年度 教育実践助成事業 実施要綱

- 事業名** 教育実践論文募集事業  
**主催** 岐阜大学教育学部同窓会  
**後援** 岐阜県教育委員会、岐阜県小中学校長会、岐阜大学教育学部  
**目的** 岐阜県における義務教育の振興・充実のため、日々行っている教育実践の報告の場として、論文の募集を行う。  
**内容** 小・中・義務教育学校の教育現場に密着した継続的・累積的な教育実践論文の募集を行い、優れた教育実践を顕彰するとともに、入賞論文集を刊行し、良質な教育実践を広く周知する。

## 論文募集要項

- 応募資格 岐阜県内の公立小・中学校、義務教育学校に勤務する教職員
- 応募方法 実践論文は関係の市町村教育委員会を通して提出する。なお、岐阜大学教育学部附属小中学校については、岐阜教育事務所を通して提出する。
- 執筆要領
  - 論文の書き方
    - 文字は常用漢字。現代かなづかいを使用する。
    - 学校教育の課題をふまえ、願い・問い（仮説）→実践→検証（分析・解釈）→改善（今後の方向）という取り組みの過程をふまえて記述する。
  - 原稿の印刷
    - モノクロ印刷で提出する。印刷原稿は白黒になることから、特に図や表は十分視認できるようにコントラストに留意する。
  - 本文の様式（詳細は別紙レイアウト参照）
    - 文章の作成はワードを使用し、フォントサイズは10.5・MS明朝（見出しはMSゴシック）。A4判6ページ（22字程度×43行～50行×2段 横書き）余白：上下左右各2.5mm程度
    - 1ページ目の冒頭に研究主題・（副主題）・所属・職名・氏名を記載する（46文字程度×5行以内×1段）。上下に二重罫線を引く。
    - 1ページ目に「概要」（46字程度×10行）を記載する。（入賞者についてはこの「概要」をそのまま論文集に掲載する）
  - 図・表・写真の使用について
    - 図とは、絵・写真・グラフを用いたりした不定形のことを指す。
    - 表とは、文字・数字・記号・縦横の罫線だけで構成されるものを指す。
    - 図と表は、内容が読み取れる程度の縮小に留める。
    - 図と表は必ず区別し、図1・表1からそれぞれで通し番号を論文全体にわたってつける。
    - 図と表には、それぞれの通し番号と共に内容を簡潔に表現した見出しをつける。
    - 図や表を挿入する際は、必ず本文内で言及し、図や表だけが突然示されることのないようにする。
    - 引用であれば、必ず図や表の下部に出典を明示する。
  - 添付資料
    - 本編以外の資料は添付しない。
  - 参考文献等
    - 参考文献等がある場合は、論文の最後に年代順で一括掲載する。
  - その他
    - 写真等は児童生徒が特定されないよう留意する。
- 論文提出期限 **令和7年1月9日(木) 各市町村教育委員会宛**

- 審査** 論文審査委員会において審査する。審査委員は次の機関の関係者に委嘱する。  
・岐阜県教育委員会 ・岐阜県市町村教育委員会 ・岐阜県小中学校長会 ・岐阜県小学校長会  
・岐阜県中学校長会 ・岐阜大学教育学部 ・岐阜大学教育学部同窓会

## 選考の観点

|     |                                |
|-----|--------------------------------|
| 観点1 | 教育の今日的な課題を踏まえ、解決の方向が明確になっているか。 |
| 観点2 | 願う児童生徒の姿、指導意図、指導方法等は明確になっているか。 |
| 観点3 | 児童生徒の成長や変容の姿がよく表れているか。         |
| 観点4 | 実践内容に創造性・妥当性が見られ、説得力のある論文であるか。 |

【備考】観点2及び観点3の「児童生徒」をそれぞれ「教職員」と置き換えることができる。

## 顕彰

- 応募論文の中から優秀・優良な論文を選定し、優秀賞・優良賞として顕彰する。
- 最も優秀な論文を選定し、最優秀賞として顕彰する。
- 新採6年以内教職員の論文を対象に実践奨励として、新人賞を選定し顕彰する。
- 喫緊の教育課題の改善に取り組んだ論文について「特別賞」を贈ることができる。

## 論文の公開

- 入賞論文を、「教育実践 入賞論文集 第40集」として刊行し、岐阜県内の小中学校及び教育関係機関に配布する。
- 岐阜大学教育学部同窓会HPに「第40回教育実践論文入賞者一覧」を公開する。
- 論文入賞者に「教育実践 入賞論文集 第40集」を贈呈する。